

紀州東照宮

紀州東照宮は、近世和歌山を安定統治した紀州徳川家の足跡を示す代表的な文化遺産として今日なおその偉光を輝かせています。

一年を通して陽光まばゆい和歌浦は、古代大和朝廷の天皇や貴族が風光明媚を求めて盛んに訪れ、その当時の様子が万葉集の和歌にも残された場所である。紀ノ川の河口としても栄えたこの地に、紀州徳川家初代・徳川頼宣は父・家康の霊を祀り、以後、和歌浦は和歌山にとってさらに聖なる地としての発展をとげた。徳川家入国以来の伝統行事である和歌祭は今年四月二十八日、聖地・和歌浦で開催されるそうです。



入り口です。



目の前に階段が出現！
段数は108段あるそうです。
高いっ！高いぞ〜っ！
「皆！我の後に続け〜！！」



「ハァハァ…」
中はこんな感じです。

東照宮の出口は
こんな感じです。

「ん〜・・・
綺麗ですね〜」
東照宮の門からマ
リ+シティが見えます。
ここからの景色も
かなりオススメ！



毎年五月になると
和歌祭りが
行われます。

東照宮への
アクセス

MANPA



お問い合わせ

TEL 073-444-0808

〒641-0024 和歌山県和歌山市和歌浦西2-1-20

和歌浦天満宮

～学問の神様～

紀州和歌山は、「木の国」とも書き表されるように、緑豊かで、明日への夢広がる国です。県北を東からゆっくり流れる紀ノ川の河口には平野が開け、その平野部の南端の和歌浦湾に望む小高い天神山の中腹に和歌浦天満宮は鎮座しています。



意外と階段が急ですが、左側に緩やかな階段もございます。



入ってすぐ目に付くのがコレ！！

タコの足！？

さすがは学問の神様…

私にはサッパリ分かりません…



筆塚

天神様を書道の神様と祀り第一には筆の労に報い、第二には筆道の上達を祈ると共に大自然の恩恵を受けて作られた毛管、筆管に感謝し、廃筆、廃硯を筆塚に納め報賽の誠を捧げる意義深い筆まつりが執行されるそうです。



学問の神様

紀州和歌浦天満宮



階段を登った人だけの特別な景色！
感無量でございます！

天満宮へのアクセス

MANPA



お問い合わせ 和歌浦天満宮 TEL 073-444-4769

〒641-0024 和歌山県和歌山市和歌浦西2-1-24

玉津島神社

和歌の神様を祭る玉津島神社は、
全国でここだけにしかその名称が
使われていない「日本一社玉津島神社」との事です。
古くから和歌の神様として多くの歌人の
信仰を集めてきたそうです。

配祀神 明光満霊 あかのうらのみたま（和歌満の神）

725年、聖武天皇が紀伊行幸の際、

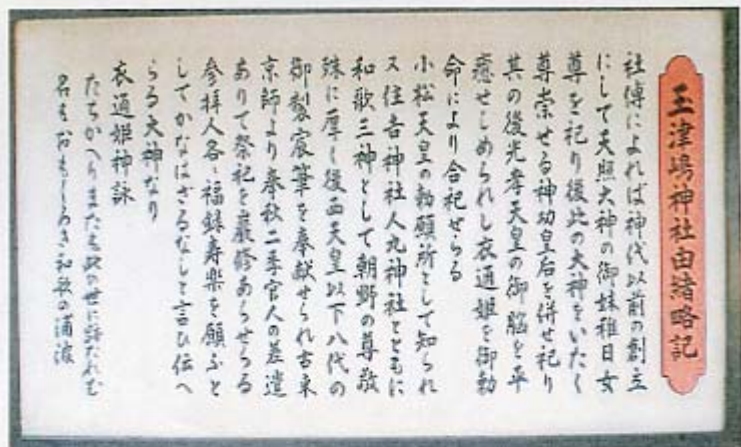
「・・・この地の弱浜「わかのはま」という名を改めて、

明光満「あかのうら」とせよ。そして番人を置いて、

この満が荒れ果ててしまわないようにさせよ。と言われたそうです。

さらに、春と秋には、都から役人を遣わして、玉津島の神、明光満の霊を祭らせよ」

との諺があるそうです。



これが、根上がり松！！
こんな松見たことないよっ！



玉津島 見れども飽かず
いかにして
包み持ち行かむ 見ぬ人のため

訳：玉津島を見ても飽きない。

これほどの景色を
どのようにして包んで持ち帰ったらよいのだろう
見ない人のために。



趣のある建物です。



玉津島神社への
アクセス

MANPA



お問い合わせ
電話 073-444-0472
和歌山市和歌浦中3丁目4-26
当館からお車で5分！！